

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年3月21日（月）～平成28年3月27日（日）〔第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.17人と前週（12.04人）から減少しましたが、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.18人と前週（5.55人）から横ばいですが、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.58人と前週（2.39人）から減少しましたが、例年並みのレベルで推移しています。



## 知っておきたい感染症～E型肝炎～

急性肝炎を引き起こす肝炎ウイルスは、A型、B型、C型、D型、E型などが知られていますが、近年、全国的に比較的珍しいE型肝炎の届出数が増加しています。川崎市でも今年は第12週（平成28年3月21日～3月27日）までに、すでに4件の届出がありました。

### E型肝炎はどんな感染症？

**感染経路：**E型肝炎ウイルスに汚染された食物、水等の摂取により感染することが多い。

**潜伏期間：**15～50日（平均6週間）

**症状：**発熱、悪心・腹痛等の消化器症状、肝腫大、肝機能の悪化（黄疸など）が現れ、まれに劇症化（特に妊婦）するケースもある。

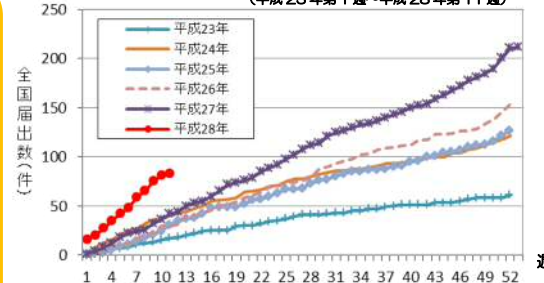
**予防方法：**手洗い、飲食物の加熱

- 流行地域へ渡航する際には、清潔の保証がない飲料水（氷入り清涼飲料を含む）、非加熱の貝類、カット済の野菜や果物を摂取しない。
- 動物（豚、イノシシ、シカなど）の肉や内臓、特に豚しゃぶを食べる際には、中心部まで十分に加熱する。



### 全国のE型肝炎届出状況

（平成23年第1週～平成28年第11週）



### 川崎市のE型肝炎届出状況

（平成19年～平成28年 ※ただし、平成28年は第12週までの集計）

